

2019年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、87億2,600万円となり前年同期比100.8%、計画比98.7%でした。

収益面では、2億8,000万円となり前年同期比57.1%、計画比113.9%でした。

医薬品製造受託事業において昨年度より本格稼働を開始した、呉羽工場における顆粒剤製品群が今年度も引き続き収益を生み出している事、及び、販管費が計画に対して下回ったことにより、経常利益が計画比増となっております。

(事業運営面)

既存受託品目の高品質で安定的な供給、新規取引先開拓および新規受託品目獲得に注力しております。

○ 課題への取組み

・「既存事業での更なる収益力の向上」のため、工場稼働率の向上、販管費のコストコントロールに注力してまいります。

・全社を挙げて顧客の求める「差別化できる技術・製品」の創出を推進してまいります。

○ トピックス、適時情報

・2021卒対象「富山県奨学金返還助成制度」に登録しました。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第2四半期、2019年4月～2019年9月) (千円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	6,643,715	7,775,308	8,659,205	8,726,264
経常利益	-265,780	114,884	491,025	280,596

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は、96億9,500万円となり、前年同期比101.3%、計画比98.4%でした。

収益面では、3億6,800万円となり、前年同期比70.6%、計画比129.7%となりました。

売上、収益の主な理由は単体における理由と同様となります。

引き続き、収益性増加のため、工場稼働率の向上、販管費のコストコントロールに取り組んでまいります。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第2四半期、2019年4月～2019年6月) (千円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	8,114,433	8,900,920	9,574,395	9,695,329
経常利益	-286,109	196,872	522,423	368,602

2019年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

日本薬剂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上高は前年同期比99.7%の28億4,400万円となりました。

経常利益は2,700万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めていきます。

○ トピックス、適時情報

新発売(4~9月)

医薬品 100mlドリンクリニューアル 2アイテム

経口補水液パウダー 1アイテム

○ 業績の概況 (第2四半期、2019年4月~2019年9月)

(千円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	2,925,190	2,991,123	2,854,598	2,844,702
経常利益	37,362	29,337	2,764	27,100

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

第2四半期までは販売面で、目標比101%、前年同期比97.4%で推移しました。利益面では経常利益13,300万円で昨年同期65万円に対し約12,700万円増で推移しました。販売面での組織強化、販売体制の見直しを昨年度から手掛け、粗利を出すための商品の選定、仕入れ等、改善に努めました。

(事業運営面)

販売面に於いては、原価率の良い広貫堂製品にウェイトを置き、原価率の低減を図りました。

また新たに、オフィス事業でJコインペイ導入しキャッシュレス化にも取り組みを行いました。

○ トピックス、適時情報

7月22日に2019年度第3回取締役会が開催されました。

○ 業績の概況 (第2四半期、2019年4月~2019年9月)

(千円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	771,135	726,233	714,932	696,395
経常利益	2,980	-11,743	650	13,341

2019年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第2四半期までは販売面で目標比98.8%、昨年同期比75%で推移、利益面では目標マイナス368万円に対しマイナス49万円で、昨年同期マイナス673万円と比較し、約600万円の改善と成った。これは経費の見直しを行い、販売体制の改善に取組みを来た事で、利益の改善に繋がったと思われます。引続き継続し改善に努めます。

(事業運営面)

主力商品である、100mlドリンク等の拡売に努めます。

○ トピックス、適時情報

7月22日に2020年度第3回取締役会開催

○ 業績の概況 (第2四半期、2019年4月～2019年9月)

(千円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	110,444	110,526	83,723	62,756
経常利益	-5,268	6,032	-6,733	-493